

# 日本における品質確保の取組と課題

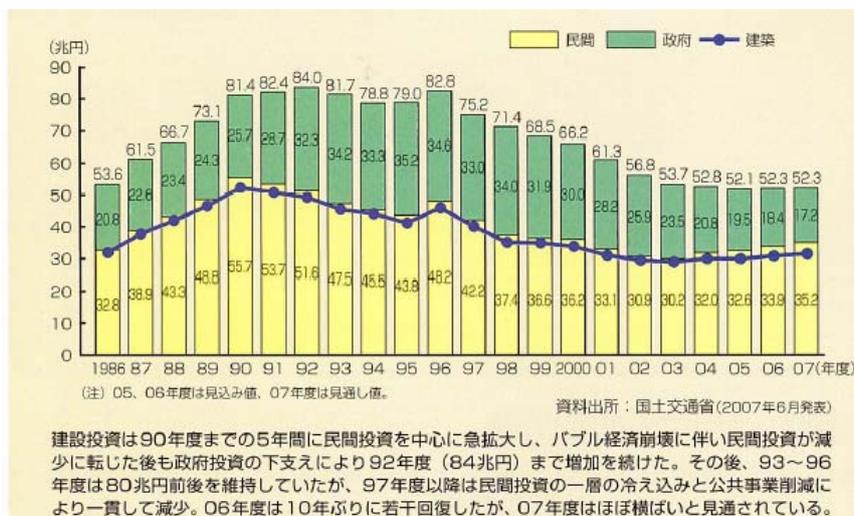
## ～ 発注者責任に関する懇談会の取組 ～

東京大学

小澤 一雅

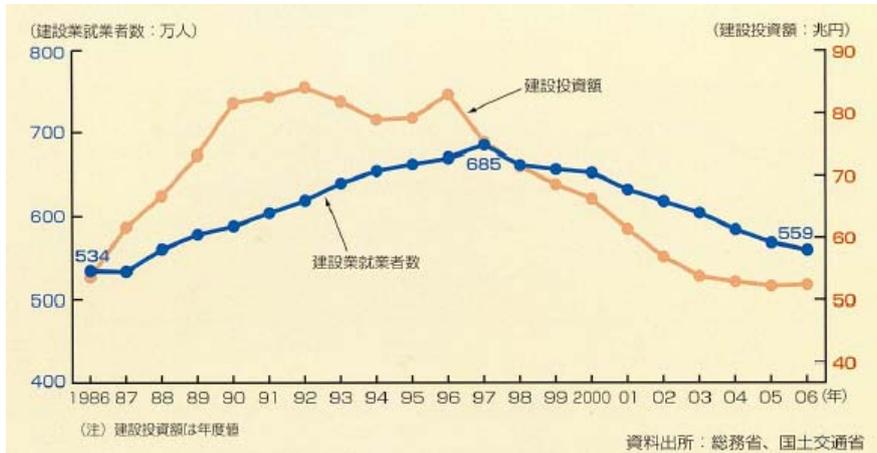
1

## 建設投資の推移



2

## 建設業就業者数の推移



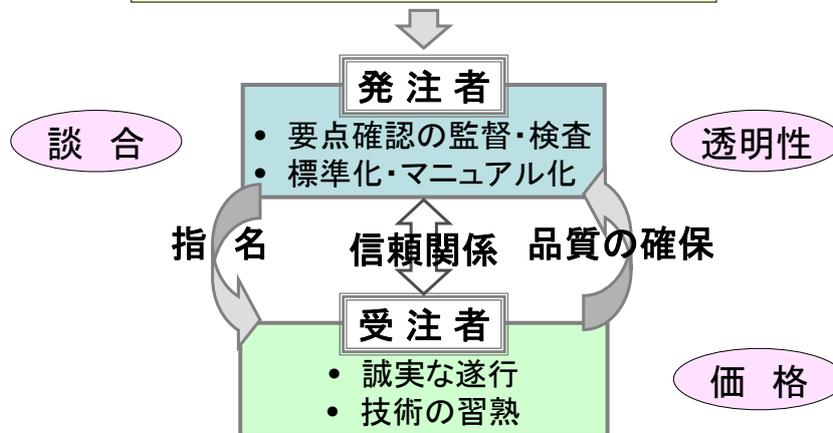
建設業就業者数は、長びく不況の中でも一貫して増加を続け(92年～97年の就業者数は、製造業の127万人減に対して、建設業は66万人増)、結果的にわが国の雇用の安定に寄与してきたが、97年(685万人)をピークとしてその後は減少。98年以降の9年間で126万人(18.4%)減少した。

3

## これまでのシステム

### 指名競争入札を中心としたシステム

優れた実績を有する信頼性の高い企業の中から入札に参加する者を選定。



発注者責任懇談会資料に加筆修正

4

## 国土交通省直轄事業の建設生産システムに おける発注者責任に関する懇談会 設立趣意書

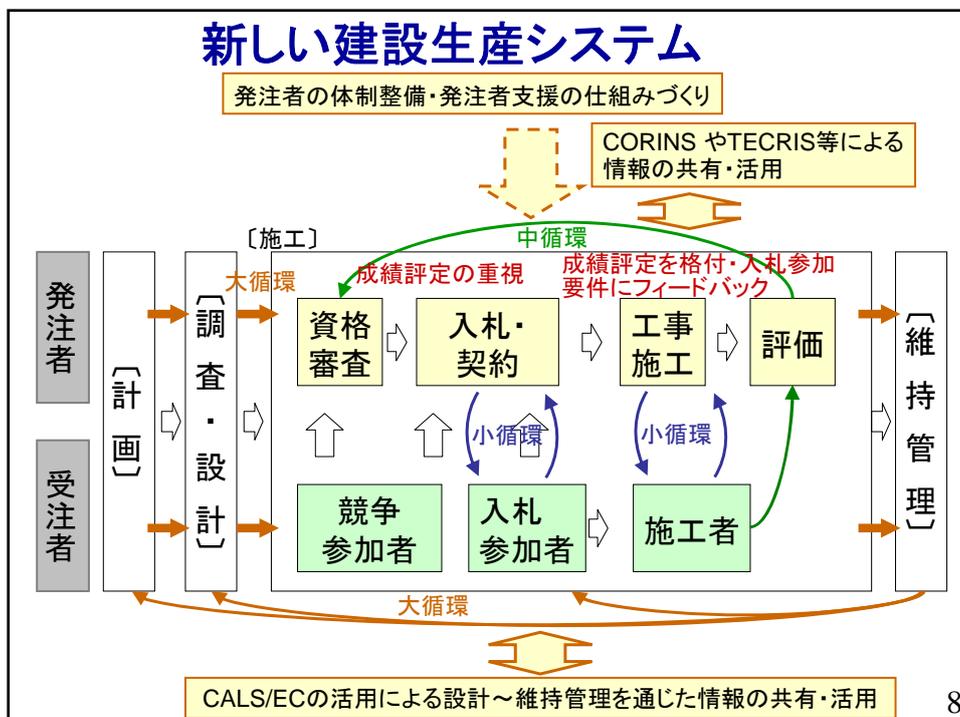
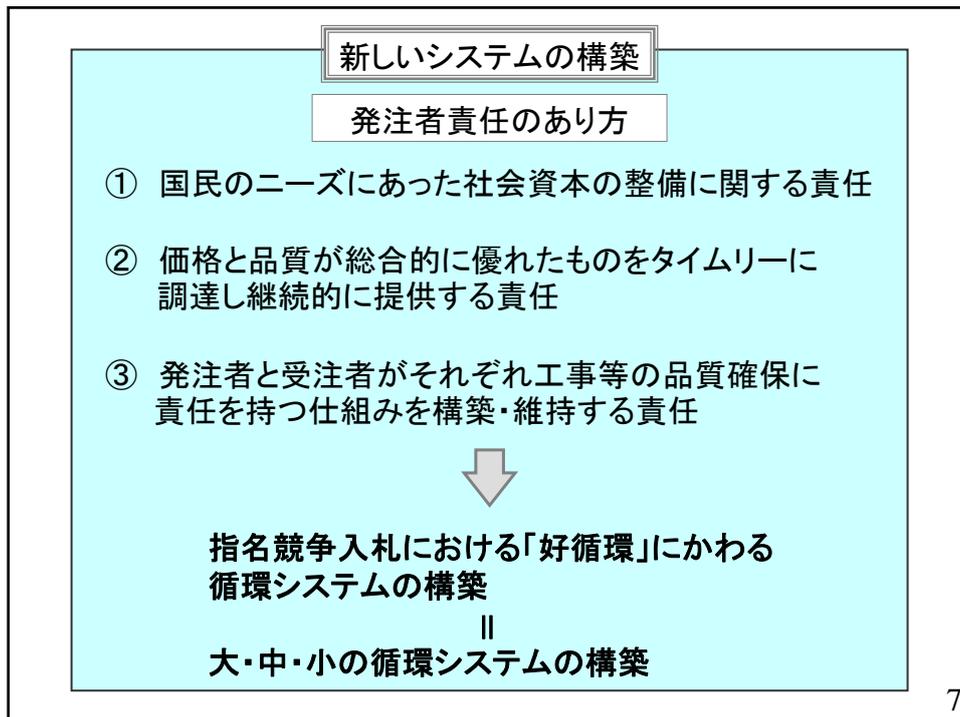
本懇談会は、中央建設業審議会の議論を踏まえつつ、国土交通省直轄事業の建設生産システムに関する実態に基づき、発注者責任の観点から、建設生産システムの在り方及び諸課題への対応方針についての検討・提言を行うことにより、国土交通省直轄事業の適切な執行を図ることを目的に設置するものである。

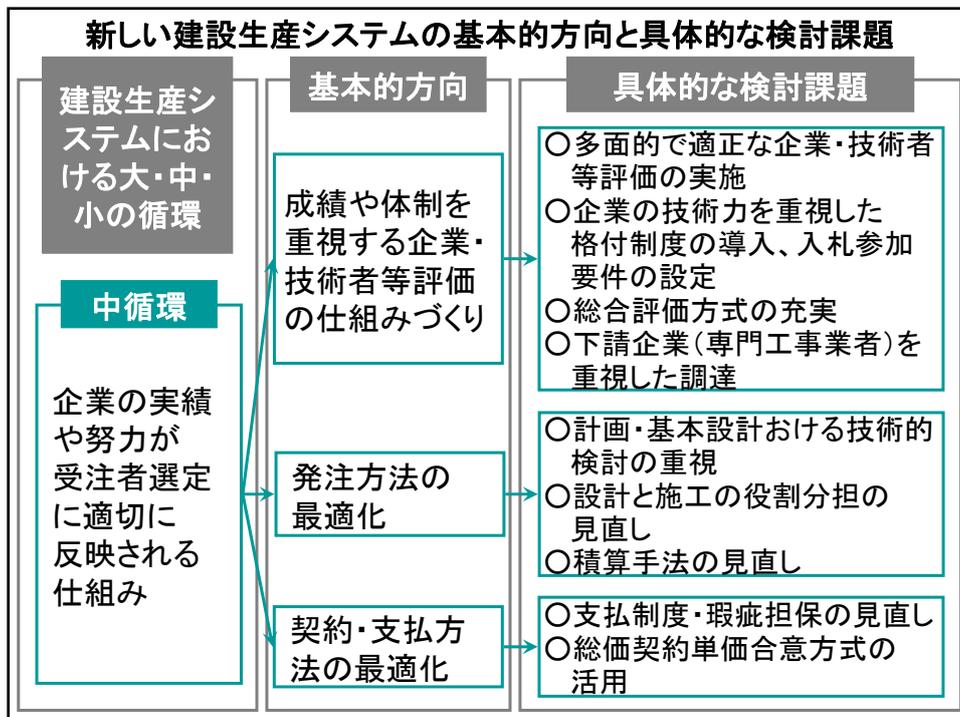
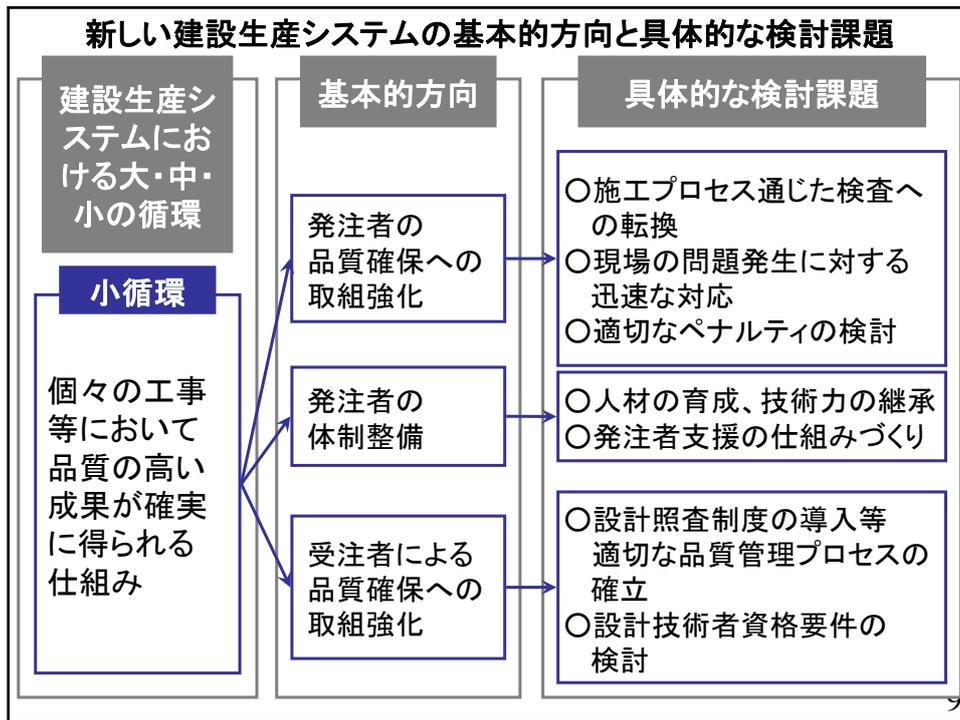
5

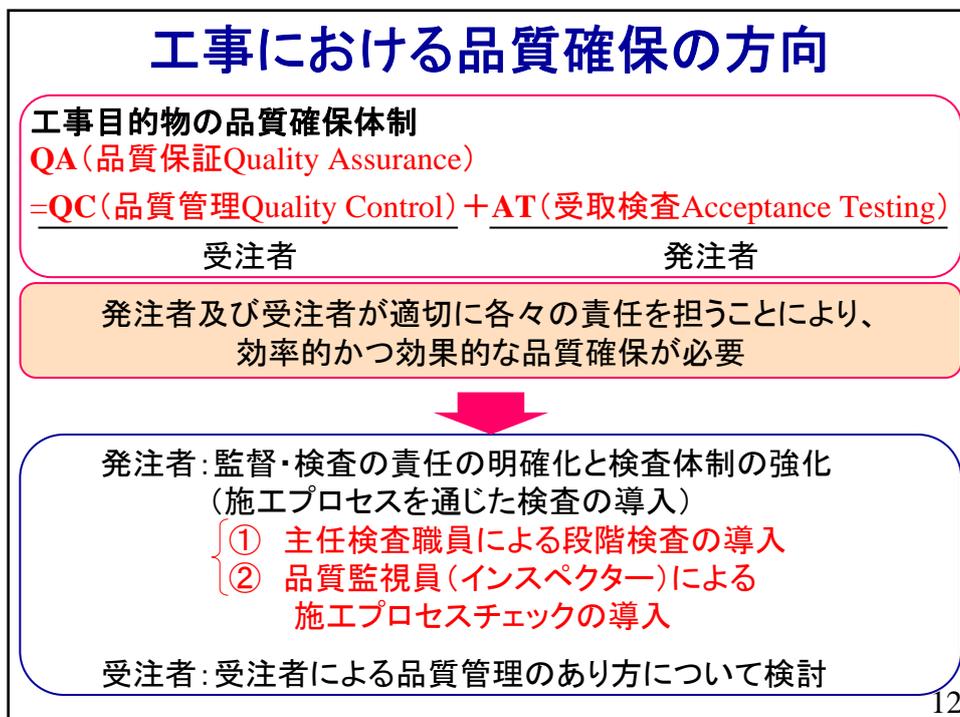
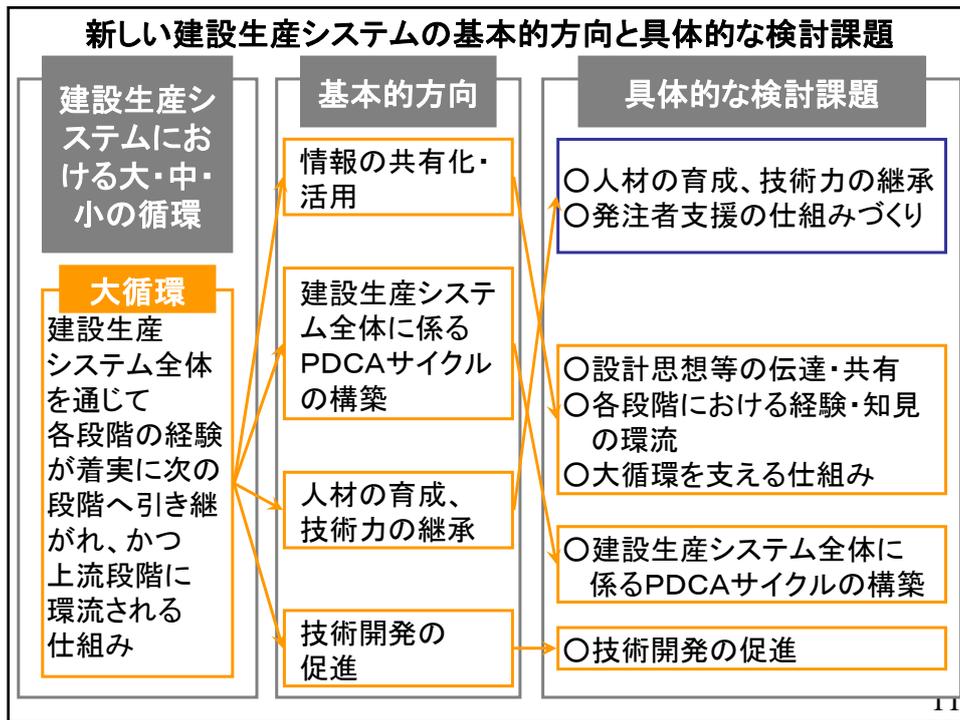
## 国土交通省直轄事業の建設生産システムにおける 発注者責任に関する懇談会 委員

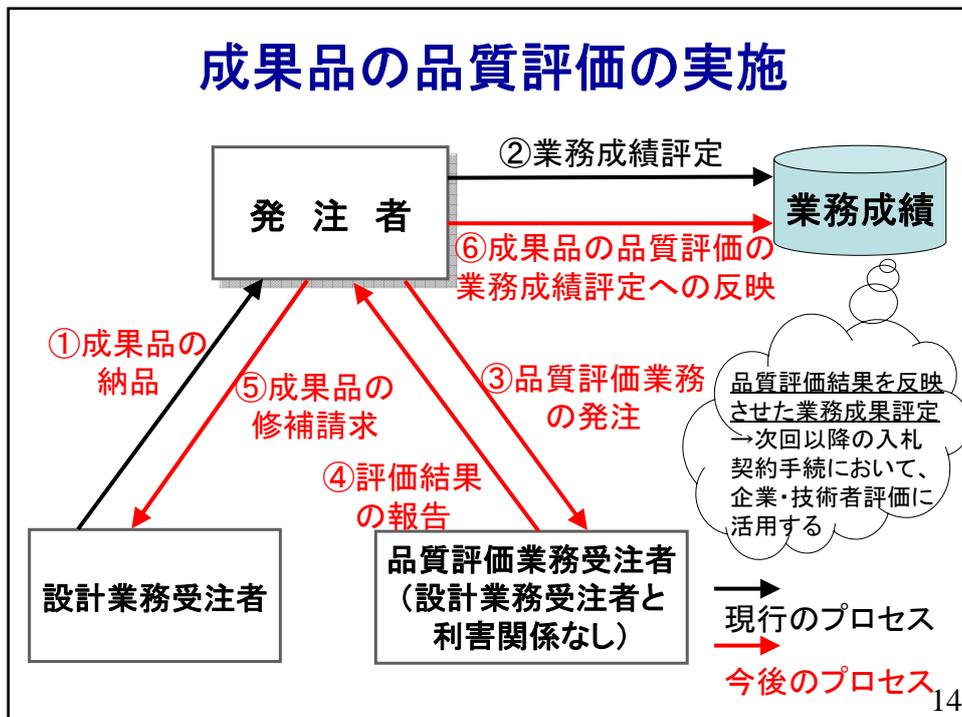
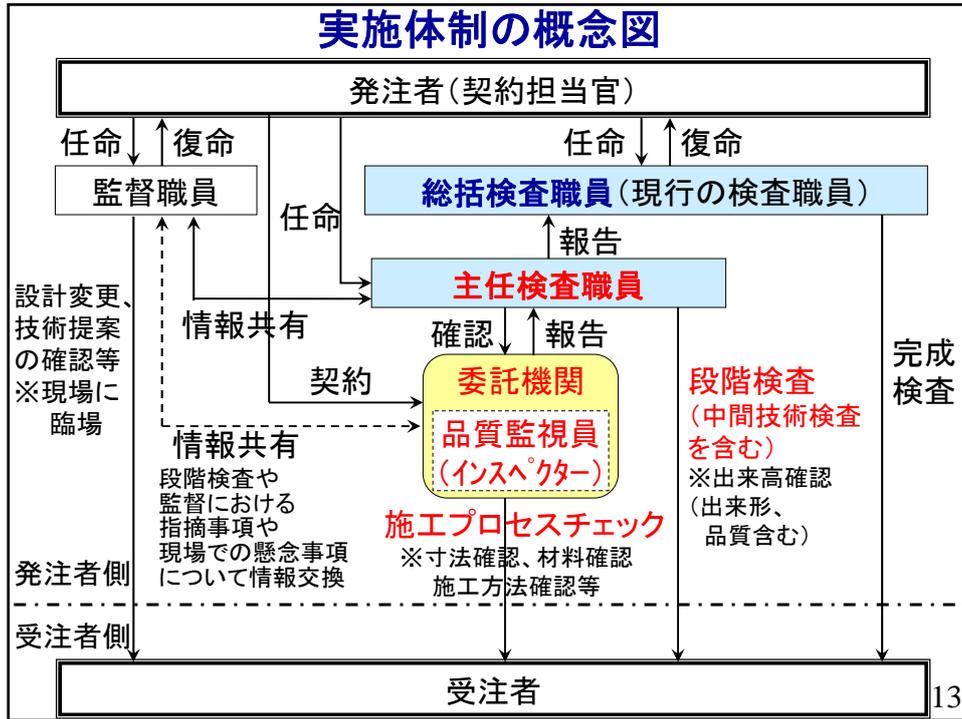
委員長	小澤一雅	東京大学	委員	澤木英二	国土交通省 官庁営繕部計画課長
委員	厚谷襄児	北海道大学	委員	関 克己	国土交通省河川局
委員	大森文彦	東洋大学	委員	木村昌司	国土交通省道路局
委員	木戸健介	ジャーナリスト	委員	山縣宣彦	国土交通省港湾局
委員	佐藤典子	弁護士	委員	中島威夫	国土交通省 関東地方整備局
委員	高野伸栄	北海道大学	オブザーバー	吉田光市	国土交通省総合政策局
委員	福田昌史	高知工科大学	オブザーバー	鶴沢哲也	国土交通省総合政策局
委員	佐藤直良	国土交通省 技術審査官	事務局	国土交通省大臣官房技術調査課	
委員	森下憲樹	国土交通省 地方課長	事務局	国土交通省 国土技術政策総合研究所	
委員	前川秀和	国土交通省 技術調査課長	事務局	国土交通省関東地方整備局	

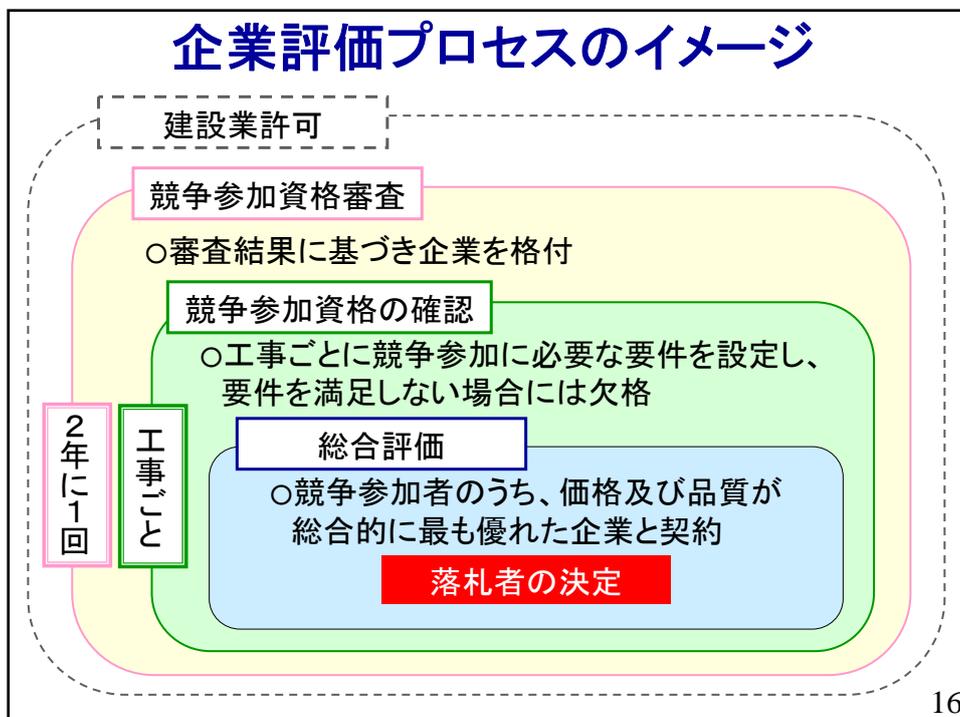
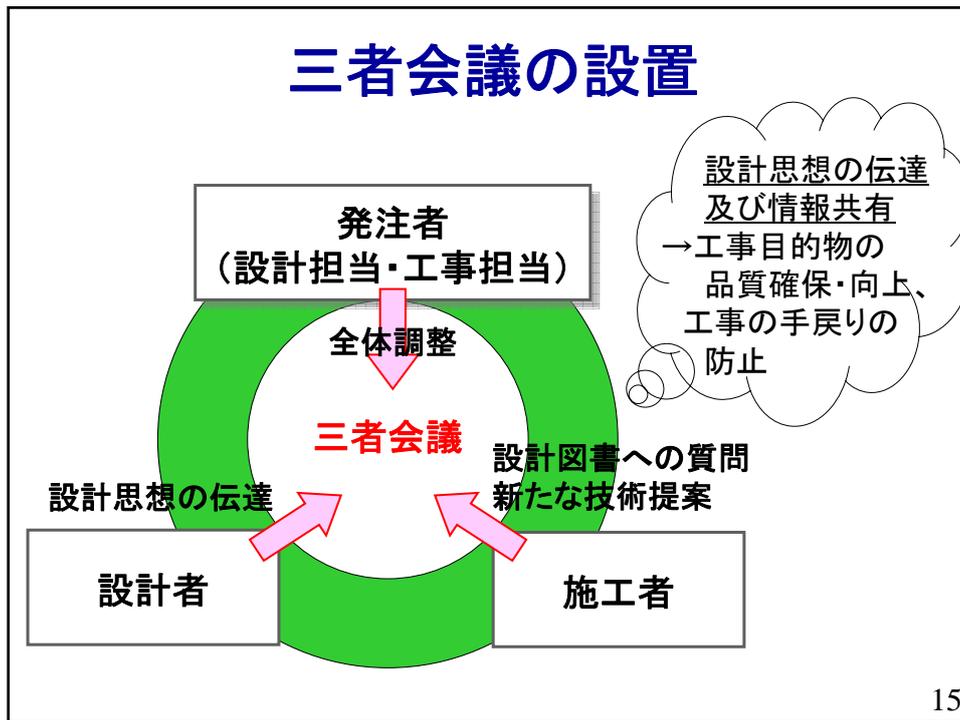
6

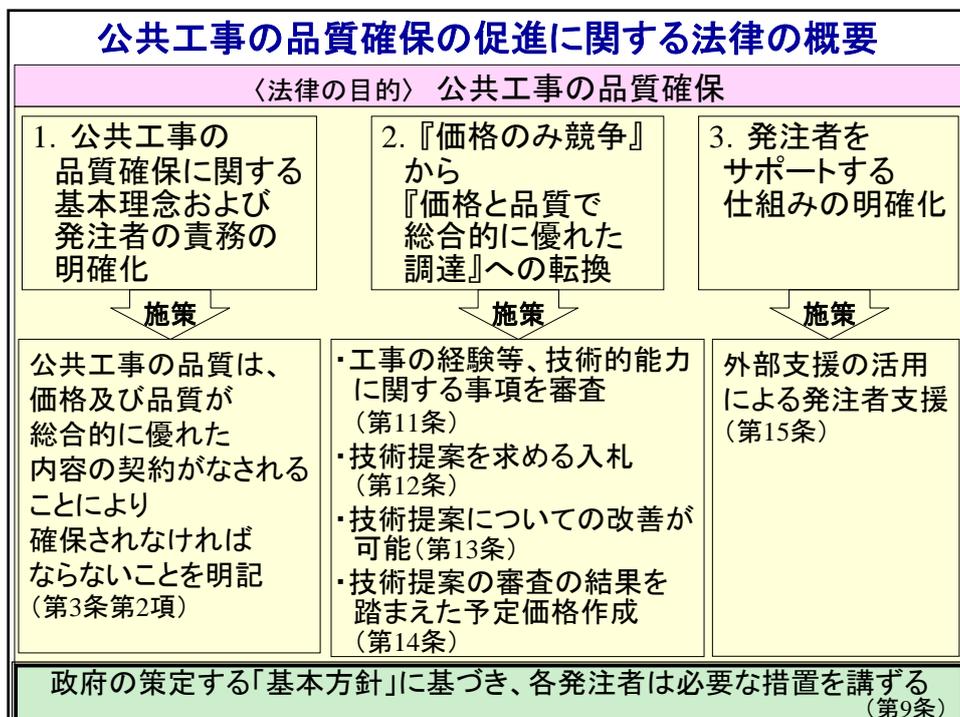
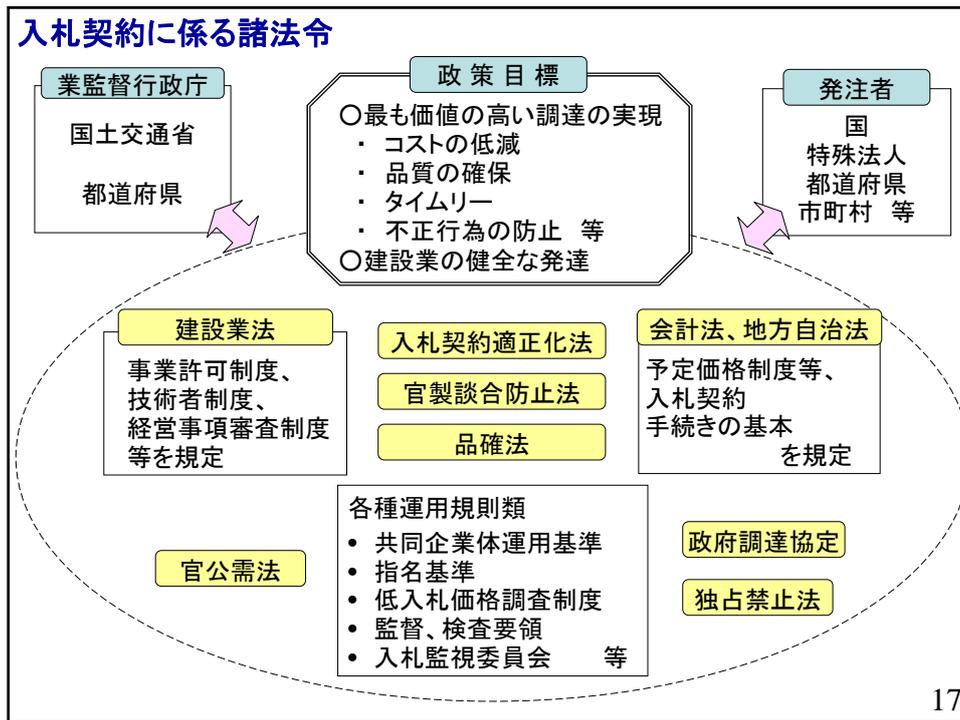












## 発注者の責務

- 発注者は、発注関係事務（仕様書・設計書の作成、予定価格の作成、入札・契約方法の選択、契約の相手方の決定、工事の監督、工事中・完成後の確認・評価等）を適切に実施。
- 発注者は、施工状況の評価等の資料が有効に活用されるよう保存。また、必要な職員の配置等に努力。

19

## 品質を確保するための発注手続(1)

- 発注者は、競争参加者の技術的能力（工事の経験、施工状況の評価、配置予定技術者の経験等）を審査。
- 発注者は、競争参加者から技術提案を求めるよう努力し（工事の内容からみて必要がない場合は除外）、中立・公正な審査・評価が行われるよう必要な措置を講じて、これを適切に審査・評価。提案内容によっては公共工事を確実に実施できないと認めるときは、その提案を不採用とすることが可能。この際、評価方法等に関する情報を公表。

20

## 品質を確保するための発注手続(2)

- 発注者は、**技術提案についての改善**を求め、又は改善を提案する機会を与えることが可能。その過程の概要は公表。
- 発注者は、高度な技術等を含む技術提案を求めたときは、技術提案の審査後に予定価格を定めることが可能。この際、学識経験者の意見を聴取。

21

## 発注者の支援

- 発注者は、自ら発注関係事務を適切に実施することが困難であるときは、**他の地方公共団体その他の者の能力を活用**するよう努力。その際、知識・経験、法令順守・秘密保持等の条件を備えた者を選定するとともに、選定した者が行う発注関係事務の**公正性を確保**するため必要な措置。
- 国・都道府県は、発注関係事務を適切に実施することができる者の**育成**等に努力。

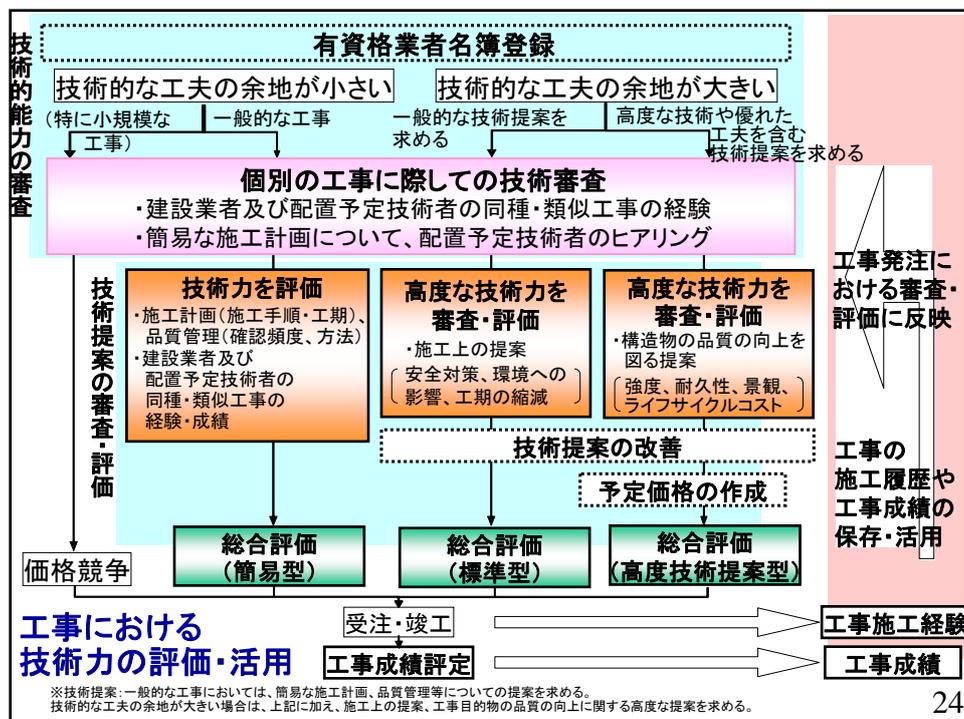
22

# 公共工事における総合評価方式 活用ガイドライン

平成17年 9月

公共工事における総合評価方式活用検討委員会

23



24

## 評価項目の考え方

- ① 企業の技術力
- ② 企業の信頼性・社会性
- ③ 企業の高度な技術力

25

## 総合評価による落札者の決定

### (1) 除算方式

評価値の算出方式

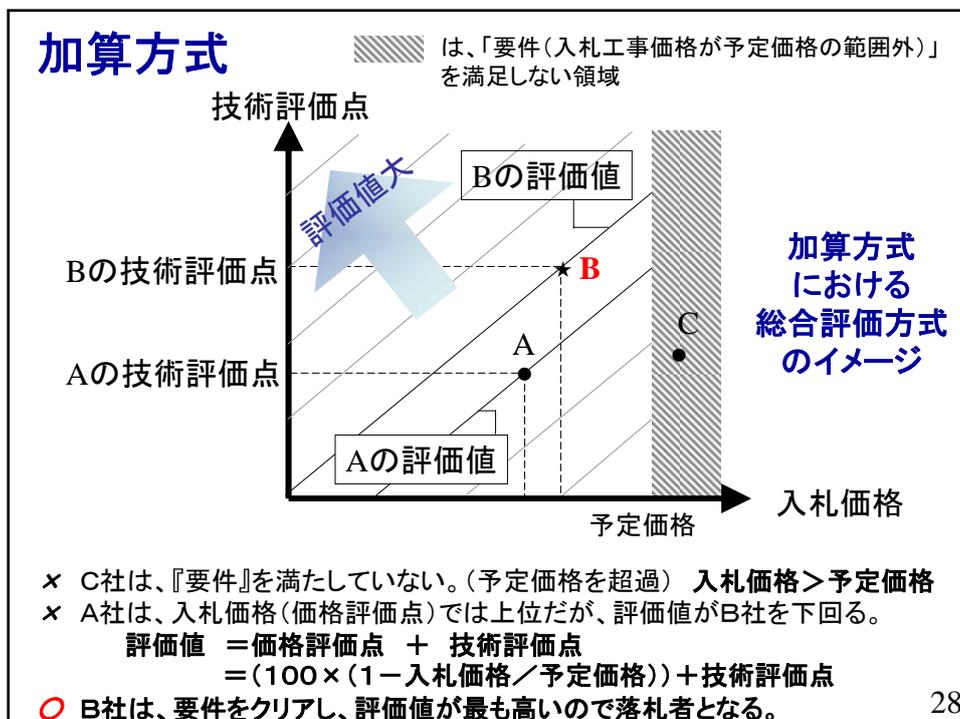
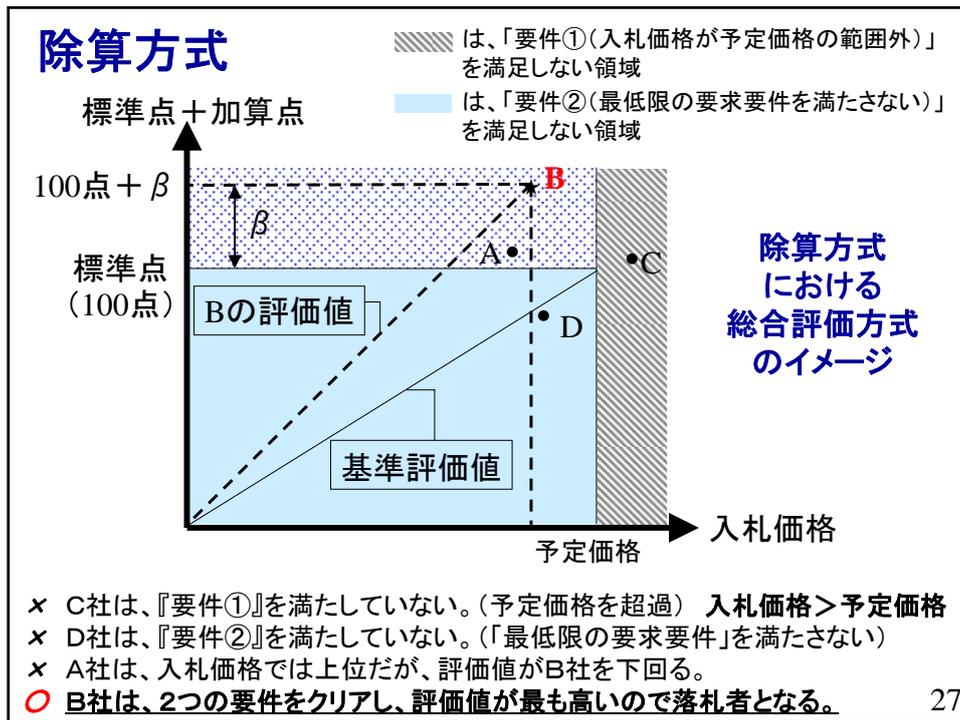
$$\text{評価値} = \frac{\text{技術評価点}}{\text{価格}} = \frac{\text{標準点(基礎点)} + \text{加算点}}{\text{価格}}$$

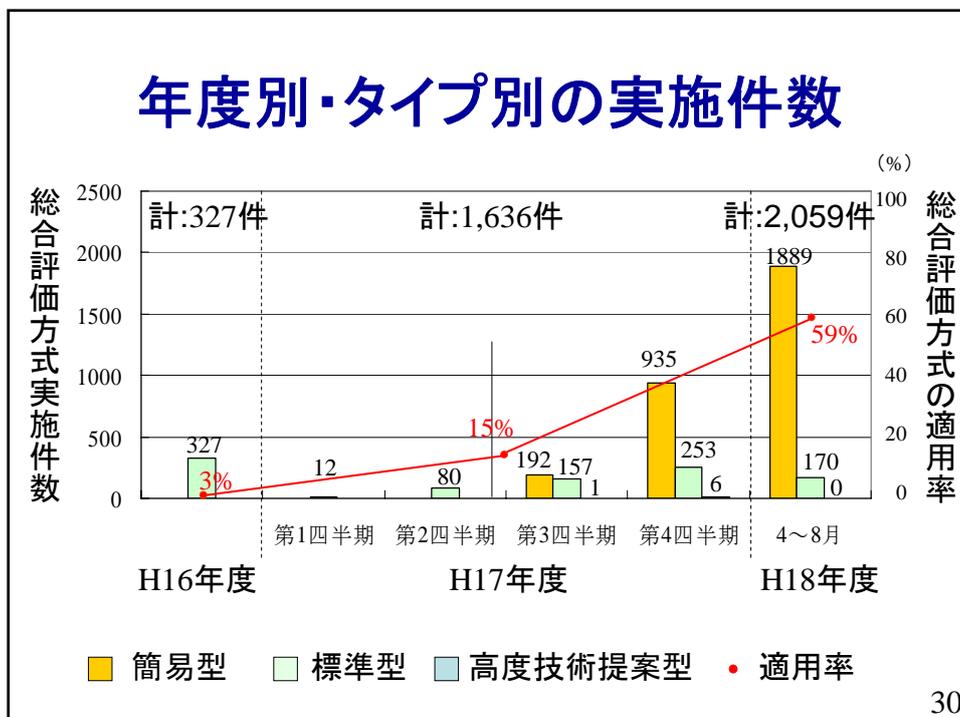
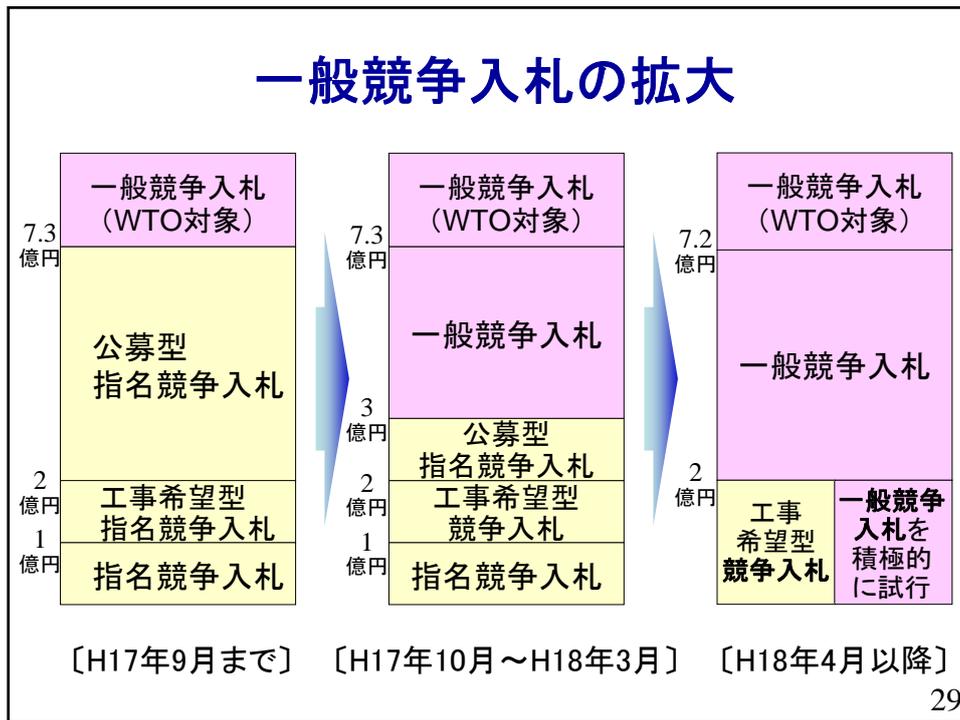
### (2) 加算方式

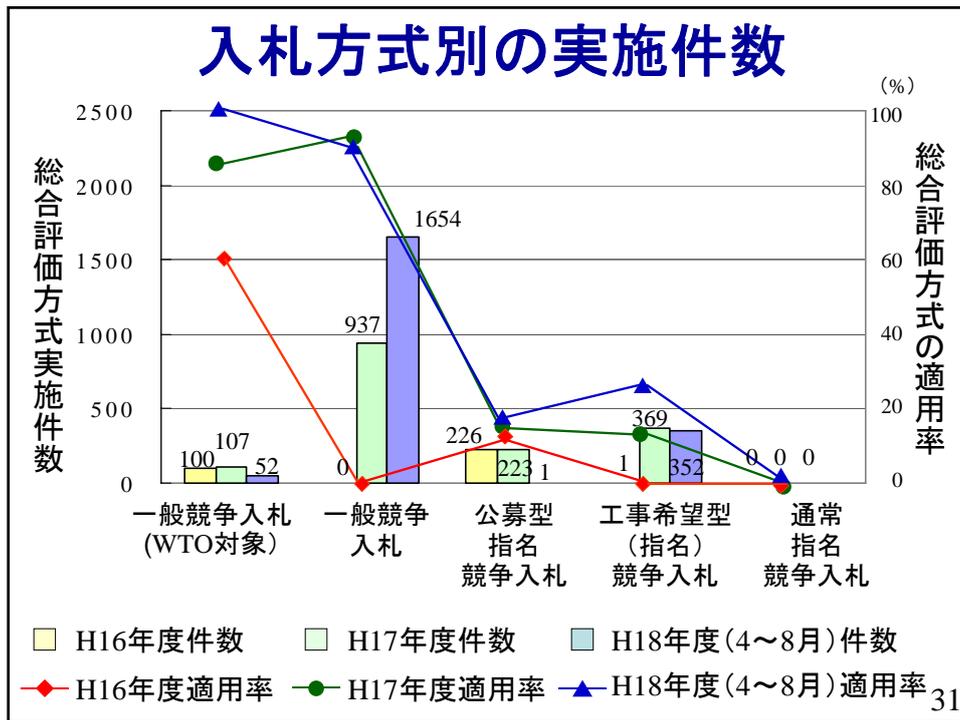
評価値の算出方式

$$\text{評価値} = \text{価格評価点} + \text{技術評価点}$$

26







## 総合評価方式適用の考え方 平成19年3月

- (1) 評価項目及び配点の見直し
- (2) 評価方法の見直し
- (3) 技術提案の課題設定と評価方法のあり方
- (4) 地方公共団体における総合評価方式の導入促進
- (5) 留意事項
- (6) 今後の課題

## 公共調達制度を考える ～土木技術者の信頼回復を目指して～

平成18年4月

社団法人 土木学会  
建設マネジメント委員会  
公共調達制度WG

33

### テーマ提案の視点

視点1. 技術力を適切に投入し、Value for Money (VFM) を向上させる

- なるべく事業プロセスの上流段階で技術力を投入する
- 多様な技術力が投入可能な制度を構築する
- プロセスと結果の点検・評価

視点2. 公正な競争環境の整備

- 発注ロットと共同企業体運用制度の見直し
- 透明なプロセスの実現、モニタリング
- 三者構造の実現と適切な支払い制度

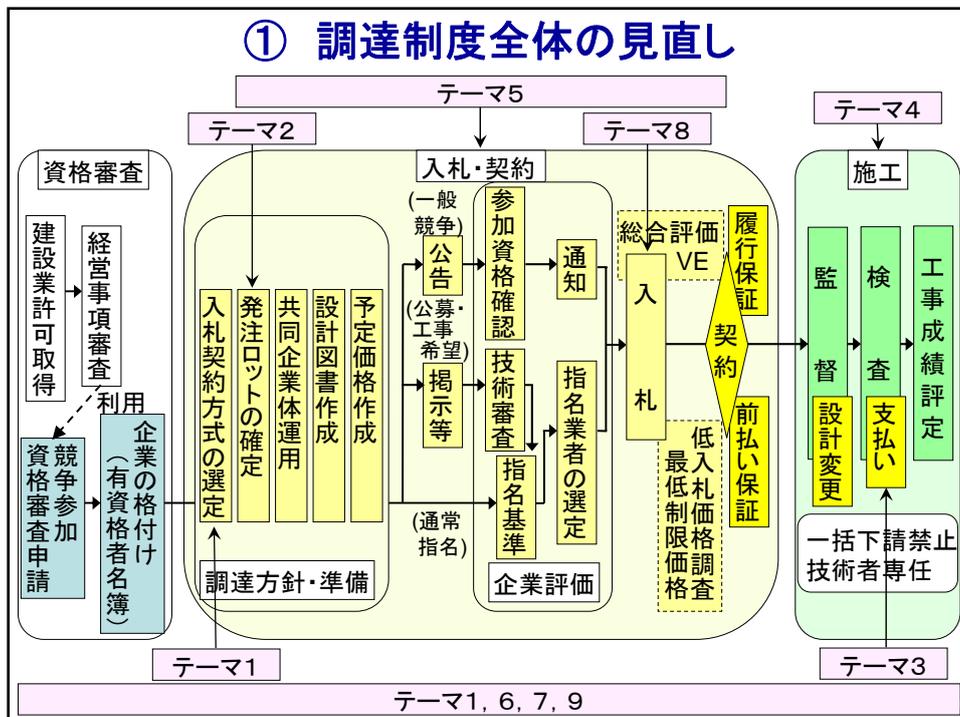
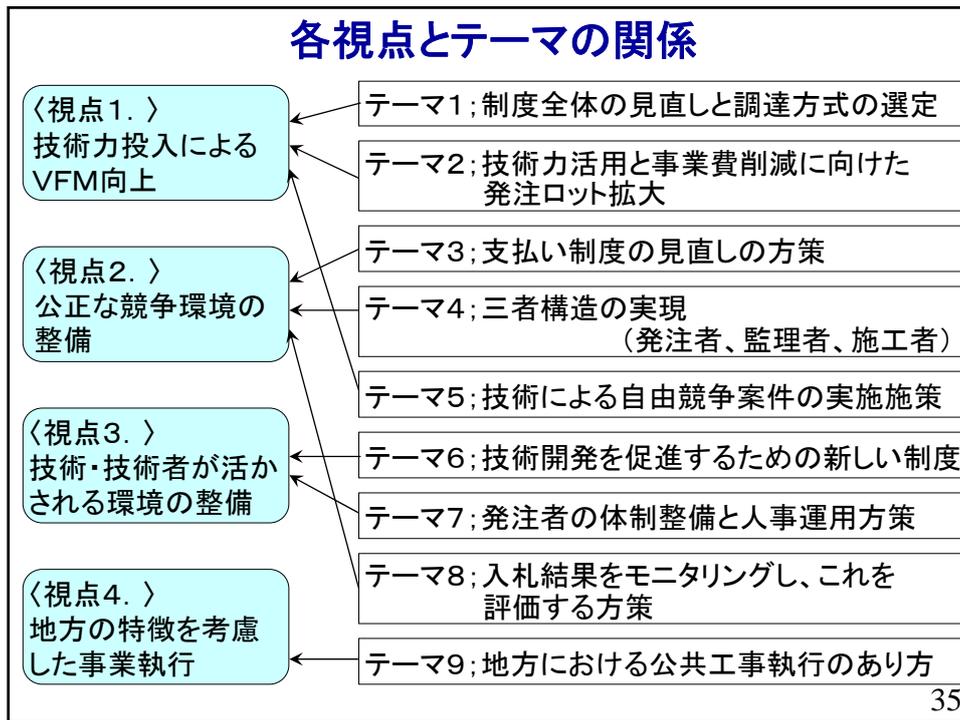
視点3. 優秀な技術・技術者が活かされる環境の整備

- 技術者資格と契約制度
- 発注者の体制整備
- 技術開発・技術力向上のインセンティブの付与

視点4. 地方の特徴を考慮した事業執行

- 「安心」システムの実現
- 経営、変更、品質、リスクの低減

34



## 第1回 建設マネジメントシンポジウム 「総合評価方式について」 ～ 公共調達制度を考えるシリーズ ～

主 催:	建設マネジメント委員会 公共調達制度研究特別小委員会
第1回テーマ:	総合評価方式について
日 程:	平成19年6月22日(金) 13:00～17:00
場 所:	土木学会(東京都新宿区四谷1丁目 外堀公園内 JR四ッ谷駅 徒歩3分)
定 員:	100名(申込先着順)
申込締切日:	平成19年6月18日(月)

37

平成19年 7月13日(金)	第 2回	制度模索のための入札結果モニタリングについて
平成19年 8月31日(金)	第 3回	三者構造とCM方式について
平成19年 9月27日(木)	第 4回	発注ロットと共同企業体制度について
平成19年10月18日(木)	第 5回	技術開発について
平成19年11月16日(金)	第 6回	契約制度の多様化について
平成19年12月21日(金)	第 7回	予定価格制度と低入札価格調査制度について
平成20年 1月未定	第 8回	コンサルタント業務の調達について
平成20年 2月未定	第 9回	出来高部分払い方式の導入について
平成20年 3月未定	第10回	地方における公共工事執行のあり方について
平成20年 4月未定	第11回	公共調達方式の国際比較
平成20年 5月未定	第12回	全体討論

建設マネジメント委員会HP ; <http://www.jsce.or.jp/committee/cmc/>

38